

人員降下訓練に伴う福生市へのフィンの落下について（要請）

令和2年7月10日、北関東防衛局より、「令和2年7月7日（火）19時30分頃、横田飛行場におけるパラシュート降下訓練中に、東京都福生市牛浜58-1 JR牛浜駅西口駐輪場付近にフィン（足ヒレ）を落下した。被害は確認されていない。」との情報が提供された。

7月7日に落下事故が発生していたにもかかわらず、7月10日までの間に情報提供がなかったことは、信頼関係を損ねる行為である。

また、横田基地においては、6月16日のCV-22オスプレイの部品遺失事故、7月2日の立川市へのパラシュート落下事故、そして今回の福生市へのフィンの落下事故と、人命に関わりかねない重大な事故が短期間に3回も発生した。

このことは、いつまた事故が発生するのではないかという周辺住民の不安を増幅させる、まさに日常の生活環境を脅かす事態である。

さらに、事故原因や再発防止策の説明を行うまでは、同様の訓練は行わないこと等を再三求めてきたにもかかわらず、これらに関する具体的な説明がないまま、三たび、こうした事態が発生したことは、これまで要請してきた経緯を踏みにじるもので、極めて遺憾であり強く抗議する。

貴職においては、このような状況を十分に認識され、再発防止と安全確保に抜本的な対策を講じるよう次のとおり強く要請する。

- 1 部品遺失事故及び人員降下訓練に伴う基地外への落下事故の、原因、他の落物の有無及び再発防止策について、至急、関係自治体へ説明を行うこと。
- 2 安全な訓練の実施に関する教育を徹底すること。
- 3 上記を行うまでの間、同様の訓練は行わないこと。

令和2年7月13日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官  
アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

日の出町長 橋本 聖

